

VII 調査票

看護職員確保に係る実態調査（施設調査票）

I 施設の基本情報について

問1 貴施設の状況についてお伺いします。

（1）貴施設の法人名及び名称をご記入ください。

法人名		施設名称	
-----	--	------	--

（2）施設区分

- | | | |
|----------------|--------------|--------------|
| 1 病院(400床以上) | 5 無床診療所 | 9 介護医療院 |
| 2 病院(200～399床) | 6 訪問看護ステーション | 10 障がい児・者施設等 |
| 3 病院(200床未満) | 7 介護老人保健施設 | 11 その他 |
| 4 有床診療所 | 8 介護老人福祉施設 | |

（3）施設所在地(医療圏)

- | | | |
|---------|----------|--------|
| 1 福岡・糸島 | 6 久留米 | 11 田川 |
| 2 粕屋 | 7 八女・筑後 | 12 北九州 |
| 3 宗像 | 8 有明 | 13 京築 |
| 4 筑紫 | 9 飯塚 | |
| 5 朝倉 | 10 直方・鞍手 | |

II 看護職員の状況について

問2 看護職員の状況

（1）看護職員数(実人員)【※委託・派遣を除く】について各職種ごとの人数を入力してください。
該当がない場合は、「0(ゼロ)」と入力してください。

	保健師	助産師	看護師	准看護師
1 令和5年4月1日時点の在籍看護職員数 (令和5年5月1日の免許取得予定者を含む)				
2 令和5年10月1日時点の在籍看護職員数				
3 令和6年3月31日時点の在籍看護職員数 (3月31日付の退職者数を含む)				
4 3のうち、外国籍の看護職員数 (在留外国人・EPA含む)				
5 令和5年度新卒採用者数(「新卒」とは免許取得 後初めて就労した職員とする)				
6 5のうち令和5年度中の新卒退職者数				
7 令和5年度の既卒採用者数 (「新卒」以外の看護職)				
8 7のうち令和5年度中の既卒退職者数				
9 令和5年度の総退職者数 (新卒・既卒・定年退職者全てを含む)				
10 令和5年度の定年退職者数				
11 10のうち定年後の再雇用者数				

(2) 令和6年度の看護職員充足状況

該当がない場合は、「〇(ゼロ)」と入力してください。

①令和6年4月1日時点の採用必要数

※定期の採用の他、退職・休職等による人員補充や増床等拡大を含む、採用を必要とした看護職員の人数

職種	保健師	助産師	看護師	准看護師
人数				

②令和6年4月1日付採用者総数（委託・派遣除く）

※新卒・既卒にかかわらず、系列病院からの異動を含む、実際に令和6年4月1日付で採用した看護職員の人数

職種	保健師	助産師	看護師	准看護師
人数				

③令和6年4月1日付採用者総数（委託・派遣のみ、実人数）

職種	保健師	助産師	看護師	准看護師
人数				

(3) 過去1年間の貴施設における看護職員の確保状況について、当てはまるものを選択してください。

- 1 困っていない
- 2 時期や状況によって困ることがある
- 3 年間を通して困っている

(4) (3) で2と回答した施設にお伺いします。困る時期について、下記のうち当てはまるものを選択してください。

- 1 4～5月（年度初め）
- 2 10月頃（半年経過）
- 3 2～3月（年度終わり）
- 4 その他

(5) (3) で2・3と回答した施設にお伺いします。困る理由について、下記のうち当てはまるものを選択してください。

- 1 募集しても集まらない
- 2 新人看護職員が多く、業務負担が増加
- 3 産前産後休暇・育児休業等の職員が多い
- 4 退職予定職員の休暇取得が多い
- 5 その他

(6) (3) で2・3と回答した施設にお伺いします。困った時にどのような工夫をして対応しましたか。

（当てはまるもの全てを選択）

- 1 業務・サービス内容を見直した
- 2 他職員が不足する病棟を応援する等病院(系列の施設) 全体で取組んだ
- 3 ITやDXの活用により、業務の効率化を図った
- 4 派遣職員を雇用した
- 5 臨時・パート職員を雇用した
- 6 病床又は病棟を減らした(休床)
- 7 その他

問3 貴施設における看護職員の勤務形態についてお伺いします。

（当てはまるもの全てを選択）

- 1 2交代制
- 2 3交代制
- 3 宿直制
- 4 日勤
- 5 日勤+オンコール
- 6 その他（ ）

問4 昇給制度について

(1) 貴施設に昇給制度はあるかについて、お伺いします。

- 1 ある 2 ない

(2) 資格取得や能力に応じた手当は、採用しているかお伺いします。

- 1 ある 2 ない

(3) (2)で「1. ある」と回答した施設にお伺いします。どのような手当を採用していますか。(当てはまるもの全てを選択)

- 1 認定看護師手当 4 診療看護師手当
2 専門看護師手当 5 分娩手当(助産師)
3 特定行為に係る手当 6 その他()

問5 令和5年1月～令和5年12月の看護職員の年次有給休暇平均取得日数について、お伺いします。

- 1 1～5日未満 4 15～20日未満
2 5～10日未満 5 20日以上
3 10～15日未満

問6 貴施設の教育研修体制についてお伺いします。

(1) 貴施設では、新人看護職員の採用はありますか。(※新人看護職員は、卒後初めて就職する看護職員をいう)

- 1 ある 2 ない 3 今後予定している

(2) 貴施設で新人看護職員を採用する場合、必要な取組は何と考えますか。(当てはまるもの全てを選択)

- 1 養成所等における基礎教育・技術指導の充実
2 自施設の教育体制整備(指導者の確保・育成、教育プログラム・マニュアル整備、メンタル支援等)
3 新人看護職員のフォロー(相談や技術指導等)のための養成所等との連携体制
4 福利厚生・労働環境の整備
5 その他()

(3) 貴施設において、看護職員が受講できる研修で当てはまるもの全てを選択してください。

- 1 新人看護職員研修(自施設・他施設が行う集合研修)
2 新任期(2～3年目)看護職員フォローアップ研修(自施設・他施設が行う集合研修)
3 新人看護職員の指導者向け研修(看護協会が実施する研修責任者・教育担当者・実地指導者研修)
4 習熟段階に応じた研修(キャリアラダー別研修)
5 専門別研修
6 管理者向け研修
7 特になし

問7 看護職員が保有する資格等について、お伺いします。

(1) 貴施設における次の資格保有者数を入力してください。該当者がいない場合は、「0(ゼロ)」と入力してください。

	人数(人)
1 特定行為研修修了者	
2 認定看護師	
3 専門看護師	
4 診療看護師(NP)	

※ 1は厚労省が認定する施設での研修修了者、2・3は日本看護協会の認定資格、4は日本診療看護師教育大学院協議会の認定資格

診療看護師:患者のQOL向上のために医師や他職種と連携・協働し倫理的かつ科学的根拠に基づき、一定レベルの診療を行うことができる看護師をいう。

(2) (1)で「1 特定行為研修修了者」が0(ゼロ)人と回答した施設にお伺いします。

受講しない理由を教えてください。(当てはまるもの全てを選択)

- 1 特定行為研修についての情報収集の段階である
- 2 医師や関係職種の理解が得られない
- 3 特定行為の活用方法がわからない
- 4 人員不足で研修受講期間中の人員補充が困難である
- 5 受講希望者がいない
- 6 施設として配置を考えていない
- 7 経費が高額である
- 8 その他

Ⅲ 勤務環境について

問8 貴施設における「子育てと仕事の両立支援」「介護と仕事の両立支援」の実施状況についてお伺いします。

(当てはまるもの全てを選択)

- 1 勤務希望のシフト調整を行っている
- 2 法定に上乗せした育児休業制度がある(4歳までに延長等)
- 3 院内保育所がある
- 4 保育所に支払う保育費の補助を行っている
- 5 学童保育がある
- 6 短時間勤務制度がある
- 7 介護休業制度がある
- 8 法定5日を超える介護休暇制度がある
- 9 フレックスタイム制または時差出勤を導入している
- 10 介護に関する費用の助成を行っている
- 11 その他
- 12 上記に示すいずれの制度もない

Ⅳ 看護職員の確保について

問9 貴施設における看護職員の求人方法について、当てはまるもの全てを選択してください。

- 1 ハローワークへの求人
- 2 ナースセンターへの求人(e-ナースセンター)
- 3 民間の有料職業紹介会社への求人
- 4 法人、施設等のホームページへの掲載
- 5 就職懇談会・説明会への参加
- 6 広報(チラシ、新聞・雑誌・市町村広報誌への掲載等)
- 7 大学、養成所等への募集案内、巡回
- 8 その他

問10 看護職員の確保や定着について課題と感ずることについて、当てはまるもの全てを選択してください。

- 1 夜勤ができる人材の確保に苦慮している
- 2 人材確保のため民間の有料職業紹介会社を利用しているが、経済的負担が大きい
- 3 離職が多い(新卒者・中途採用者も長期雇用にならない人が増加)
- 4 経営面の問題で、労働条件や労働環境改善をすることが難しい
- 5 管理者の指導・管理能力等が不足している
- 6 施設の教育体制が脆弱である(指導する職員の知識・技術不足、教育・研修時間の確保が難しい等)
- 7 看護職員の意欲・姿勢、コミュニケーション能力等が十分でない
- 8 健康問題(精神的不調・身体的不調の職員)を抱える職員の増加
- 9 看護技術(キャリアに応じた知識・技術)が十分でない
- 10 看護補助者の確保が難しい
- 11 現在の診療報酬では賃金が上げられない
- 12 その他()
- 13 課題はない

問11 看護職員の離職理由として貴施設が考える多いものを3つまで選択してください。

- | | |
|--------------------|----------------------|
| 1 職員間の人間関係 | 8 勤務時間が長い・超過勤務が多い・多忙 |
| 2 結婚 | 9 夜勤の負担・不安が大きい |
| 3 妊娠・出産・子育て | 10 リフレッシュのため |
| 4 転居 | 11 他職場への関心・再就職 |
| 5 自分の適性・能力への不安 | 12 親族の健康問題・介護 |
| 6 自分の健康(身体的・精神的理由) | 13 その他 () |
| 7 スキルアップの機会が少ない | |

問12 令和5年に改正された「看護師等の確保を促進するための措置に関する基本的な指針(厚生労働省医政局長等通知)」では、55歳以上の看護職員の就業の推進が必要とされています。そこで、貴施設における55歳以上の看護職員の活用状況について、お伺いします。

(1) 令和6年3月31日時点の、貴施設における55歳以上の看護職員について、年齢及び正規・非正規職員別の看護職員数を入力してください。

※正規職員は、短時間勤務含む。非正規職員は、パート・契約職員・嘱託等で派遣は含まず。

該当がない場合には、「0(ゼロ)」と記入してください。

		正規職員(人)	非正規職員(人)
年 齢 区 分	55～59歳		
	60～64歳		
	65～69歳		
	70歳以上		

(2) 定年制の導入・延長や再任用の有無について、お伺いします。(当てはまるものを選択及び上限年齢を入力してください)

		現状		今後の予定	
		あり	上限年齢	なし	延長・導入あり ある場合の 上限年齢
1	定年制		歳		歳
2	再任用		歳		歳

(3) 貴施設では、定年以降の看護職員の活用(拡充)を考えていますか。

- 1 積極的に活用したい 2 活用したい 3 考えていない

(4) (3)で「1 積極的に活用したい」「2 活用したい」と回答した施設にお伺いします。定年以降の看護職員に求める業務・役割について、当てはまるものを全てを選択してください。

- 院内の案内
- 患者相談・サポート、患者家族の相談・対応
- 入退院支援、地域連携の調整
- 新人の教育支援や中途採用者の相談支援
- 新任看護管理者の相談支援
- 地域住民向けの健康相談や健康教室の講師
- 職員が手薄となる時間帯(夕方等)のカバー、急な欠勤のバックアップ
- 産休・育休中の職員のバックアップ
- 介護老人保健施設等における感染管理
- 要介護認定に係る業務
- その他 ()

V. 看護補助者の確保について

問13 貴施設における看護補助者の勤務状況についてお伺いします。

(1) 貴施設における看護補助者(正規雇用・非正規雇用)の採用・退職の状況について、入力してください。

※退職者には、非常勤の補助者の雇用契約終了又は派遣職員の補助者の派遣終了に伴う退職者を含む。

※該当がない場合(新規採用者がいなかった場合等)は、「0(ゼロ)」と入力してください。

採用者・退職者の状況		自施設雇用職員数		自施設以外雇用職員(委託・派遣)数	
		常勤数	非常勤数	常勤数	非常勤数
1	令和5年4月1日時点の在籍看護補助者数				
2	1のうち、外国籍の看護補助者数(在留外国人、EPA含む)				
3	令和5年4月1日～令和6年3月31日の新規採用者数				
4	3のうち、年度末までに退職した新規採用者数				
5	令和5年4月1日～令和6年3月31日の看護補助者総退職者数 ※定年退職者、新規採用者の退職者を含む全退職者数				
6	令和6年4月1日時点の採用必要数				
7	5に対する令和6年4月1日付の実際の採用者総数				
8	年代別人数 (令和5年4月1日時点)				
	29歳以下				
	30～39歳以下				
	40～49歳以下				
	50～59歳以下				
	60～69歳以下				
	70歳以上				

(2) 過去1年間の貴施設における看護補助者の確保状況について、当てはまるものを選択してください。

- 1 困っていない
- 2 時期や状況によって困ることがある
- 3 年間を通して困っている

(3) 貴施設における看護補助者の確保に向けた取組状況について、お伺いします。

① 現在の取組状況について、下記のうち当てはまるものを選択してください。

- | | |
|-------------|-----------|
| ア 既に取り組んでいる | ウ 検討していない |
| イ 検討中 | エ わからない |

② ①でア、イと回答した施設にお伺いします。

どのような取組み(検討)をしていますか。(当てはまるもの全てを選択)

- | | |
|-----------------------------|---|
| ア 看護補助者対象の研修の実施(外部研修活用含む) | |
| イ 看護補助者を正規職員として雇用 | |
| ウ 看護補助者の人事評価(評価に応じた昇給・手当支給) | |
| エ 看護補助者の求人活動強化 | |
| オ その他(具体的に |) |

③ ①で「ウ 検討していない」と回答した施設方にお伺いします。

取組を検討していない理由をお答えください。(当てはまるもの全てを選択)

- | | |
|---------------|---|
| ア 取り組む時間がない | |
| イ 取り組む人がいない | |
| ウ 取り組む費用がない | |
| エ 取組を必要としていない | |
| オ その他(具体的に |) |

(4) 看護補助者を雇用している施設の方にお伺いします。

看護補助者が行っている業務及び指導が難しいと感じる業務について、当てはまるもの全てを選択してください。

業務内容			行っているもの	難しいと感じるもの
周辺業務(対象者に接しない業務)	生活環境に関わる業務	1 病床及び病床周辺の清掃・整頓		
		2 病室環境(温度・湿度・遮光・換気など)の調整		
		3 シーツ交換・ベッドメイキング		
		4 リネン類の管理		
	診療に関わる周辺業務	5 診療・検査等の書類(伝票等)の準備、補充		
		6 診療に必要な機器・器具等の準備、片づけ		
		7 診療材料の補充・整理		
		8 診療材料の運搬		
		9 入退院・転出入に関する業務		
直接ケア(「対象者の状態像」「看護補助者が業務を実施する状況」によって看護補助者が実施可能かどうかは異なる)	日常生活に関わる業務	10 食事に関する業務		
		11 身体の清潔に関する業務		
		12 排泄に関する業務		
		13 安全安楽に関する業務		
		14 移動・移送に関する業務		
		15 夜勤業務		
		16 その他(具体的に)		

(5) 看護補助者の雇用に係る看護補助者処遇改善補助金※の活用状況についてお伺いします。

① 貴施設では、看護補助者処遇改善補助金を活用しましたか。

1 はい 2 いいえ

② ①で「1. はい」と回答した施設方にお伺いします。補助金活用後、継続的な賃金改善を実施していますか。

1 継続している 2 一部縮小して継続している 3 継続していない

※看護補助者処遇改善補助金：医療分野では他の産業に賃上げが追い付いていないため、病院及び有床診療所に勤務する看護補助者を対象に、賃上げ効果が継続される取組を前提として、収入を引き上げるために必要な経費を補助するもの(国→県補助→施設)
 補助金額：対象施設の看護補助者 常勤換算1人当たり月額平均6,000円の賃上げに相当する額
 対象期間：令和6年2月～令和6年5月分の賃金引上げ分(以降も、別途賃上げ効果が継続される取組を行

ご協力ありがとうございました。

看護職員確保に係る実態調査（看護職員調査票）

I. 職場選択の考え方について

問1 あなたが現在の職場を選ぶ際に、最も活用した情報はどれですか。（1つ選択）

- | | |
|-----------------------|-----------------------------|
| 1 ハローワーク | 7 友人・知人からの紹介 |
| 2 ナースセンター（eナースセンター含む） | 8 臨地実習施設の情報 |
| 3 民間の職業紹介会社 | 9 法人、施設からの就職の働きかけ |
| 4 大学・養成所等での進路指導 | 10 広告（チラシ、新聞・雑誌・市町村広報への掲載等） |
| 5 法人、施設等のホームページ | 11 その他（ ） |
| 6 就職懇談会（セミナー）・説明会 | |

問2 あなたが現在の職場を選んだ理由は何ですか。（当てはまるもの全てを選択）

- 1 仕事の内容が魅力的（働きがいがある。今後もニーズがある等）
- 2 設置者の理念・方針に共感したから
- 3 資格・技能が活かせるから
- 4 教育体制が充実しているから
- 5 通勤が便利だから
- 6 給与が高いから
- 7 福利厚生・労働環境（子育て支援・介護支援等）が充実しているから
- 8 経営が健全で将来的に安定した職場であるから
- 9 勤務時間に柔軟性があるから
- 10 人に勧められたから（家族・学校・先輩など）
- 11 その他

問3 現在の仕事の満足度についてお伺いします。当てはまるものを選択してください。

- | | | | |
|------|--------|--------|------|
| 1 満足 | 2 やや満足 | 3 やや不満 | 4 不満 |
|------|--------|--------|------|

問4 これまでのお仕事の経験について、お伺いします。

（1）看護職員として転職したことがありますか。

- | | |
|------|------|
| 1 ある | 2 ない |
|------|------|

（2）（1）で「1 ある」と回答した方にお伺いします。

以前、勤務していた職場を辞めた理由は、何ですか。（当てはまるもの全てを選択）

※離職されたことが複数回ある方は、今までの理由を全て選んでください。

- | | |
|-----------------------|----------------|
| 1 職場の人間関係 | 11 自身の精神的な健康問題 |
| 2 賃金が安い | 12 夜勤ができない |
| 3 能力が適正に評価されない | 13 通勤が不便 |
| 4 教育体制・スキルアップの機会がない | 14 結婚・妊娠・出産 |
| 5 有給休暇がとりにくい | 15 子供の教育・進学 |
| 6 時間外勤務が多い | 16 家族の介護 |
| 7 職場の相談体制の不足（フォロー体制） | 17 転居 |
| 8 患者・家族、上司等からの暴言・暴力 | 18 定年、雇用期間終了 |
| 9 業務の負担感（看護部内の役割が多い等） | 19 他にしたいことがある |
| 10 自身の身体的な健康問題 | 20 その他 |

Ⅱ. 看護職員として生涯働くことのできる要件や働きやすい職場環境について

問5 看護職員として働き続けるために、必要だと思う条件や仕事の負担について、お伺いします。

(1) 現在の職場であなたが感じる、労働条件・仕事の負担等での悩み、不安、不満等は何ですか。

(当てはまるもの全てを選択)

- | | |
|------------------------------------|-------------------|
| 1 仕事の内容・やりがいが少ない | 9 有給休暇がとりにくい |
| 2 教育体制・キャリアアップの機会(研修の機会・能力開発等)が少ない | 10 医療のIT化に適應できない |
| 3 雇用形態に不満がある(非正規・パート等) | 11 身体的・精神的負担が大きい |
| 4 人手が足りない | 12 職場の人間関係 |
| 5 仕事内容のわりに賃金が低い | 13 事故や感染の危険がある |
| 6 福利厚生に不満がある | 14 自身の知識・技術の不足がある |
| 7 時間外勤務が多い・勤務時間が長い | 15 その他 |
| 8 夜勤の負担が大きい | 16 なし |

(2) 看護職員が生涯働き続けられるには、何が必要と考えますか。(当てはまるもの全てを選択)

- 1 仕事とプライベートの両立ができる
- 2 処遇に見合った賃金
- 3 自分のスキルに合った仕事内容
- 4 キャリアに応じた教育体制
- 5 自身の健康
- 6 多様な勤務形態の導入(日勤のみ・夜勤専従・短時間勤務等)
- 7 定年延長・再任用の導入
- 8 子育て支援の充実
- 9 介護支援の充実
- 10 その他

(3) 令和5年に改正された「看護師等の確保を促進するための措置に関する基本的な指針(厚生労働省 医政局長等通知)」では、55歳以上の看護職員の就業の推進が必要とされていますが、ご存じですか。

- 1 はい
- 2 いいえ

(4) あなたが55歳以降も働く場合、何歳まで継続して働きたいと思いますか。

- | | |
|----------|----------|
| 1 55～59歳 | 4 70歳以上 |
| 2 60～64歳 | 5 わからない |
| 3 65～69歳 | 6 働きたくない |

問6 働く現場でのハラスメントの状況等について、お伺いします。

(1) あなたは、過去1年間に仕事に「患者やその家族から」以下のようなことを受けたことがありますか。
(当てはまるもの全てを選択)

※ 勤務経験が1年未満の方は、入職して今までの期間の経験でお答えください。

- 1 セクシャルハラスメント(意に添わない性的誘い掛けや好意的態度の要求等、性的な嫌がらせ行為等)
- 2 身体的な暴力
- 3 言葉の暴力
- 4 カスタマーハラスメント
- 5 その他()
- 6 ない

(2) あなたは、過去1年間に「職場の上司や同僚等から」以下のようなことを受けたことがありますか。
(当てはまるもの全てを選択)

※ 勤務経験が1年未満の方は、入職して今までの期間での経験でお答えください。

1 セクシャルハラスメント

(意に添わない性的誘い掛けや好意的態度の要求等、性的な嫌がらせ行為等)

2 パワーハラスメント

(職務上の地位や職場での人間関係等の優位性を背景に、業務の適正な範囲を超えて、精神的・身体的苦痛を与える行為)

3 マタニティハラスメント・パタニティハラスメント

(妊娠・出産、男性の父性に対し、上司や同僚の言動により、対象職員の就業環境が害されること)

4 モラルハラスメント(職場での優位性に関係なく行われる精神的嫌がらせ行為)

5 その他 ()

6 ない

(3) (1) で1～5、(2) で1～5のいずれかを選択した方にお伺いします。

ハラスメントを受けた後の対応について、誰かに相談しましたか。(当てはまるもの全てを選択)

1 上司に相談した

5 組織外の相談窓口相談した

2 先輩や同僚に相談した

6 誰にも相談していない

3 家族や友達に相談した

7 その他 ()

4 施設内の相談窓口相談した

(4) ハラスメントに係るあなたの職場での取組みについて、お伺いします。

職場の取組みで知っているもの全てを選択してください。

1 相談窓口又は相談窓口担当者が周知されている

2 被害を受けた場合の配慮がある(メンタルサポート対応や行為者への対応の体制等)

3 被害防止のための取組み(マニュアルや研修への参加)

4 その他 ()

5 知らない

Ⅲ. 労働日・労働時間について

問7 現在の職場でのあなたの勤務時間数・日数について、お伺いします。

(シフト勤務等で変動がある場合は、平均的な時間数・日数をご回答ください)

(1) 1日の平均的な勤務時間(残業を除く)について、お伺いします。(1つ選択)

1 4時間未満

4 8時間以上 10時間未満

2 4時間以上 6時間未満

5 10時間以上 12時間未満

3 6時間以上 8時間未満

6 12時間以上

(2) 1週間に働く平均的な日数について、お伺いします。(1つ選択)

1 2日以内

3 5日

2 3～4日

4 6日以上

Ⅳ. 資質向上について

問8 あなたの職場における看護職員の資質向上のための取組状況について、お伺いします。

(1) 研修を受講する機会がありますか。(外部研修を含む)

1 ある

2 ない

(2) (1) で「1 ある」と回答した方にお伺いします。

下記研修の中で、これまで受講したものは何がありますか。(自施設・外部研修含む)(当てはまるもの全てを選択)

- 1 新人看護職員研修
- 2 新任期(2～3年目)看護職員研修(フォローアップ研修等)
- 3 習熟段階に応じた研修(キャリアラダー別研修)
- 4 管理者向け研修
- 5 専門別研修

(3) 県では新人看護職員の指導者となる看護職員の資質向上のため、「新人看護職員研修責任者研修」「新人看護職員教育担当者研修」「新人看護職員実地指導者研修」を開催(県看護協会が委託を受け実施)していますが、受講したことがありますか。

- 1 ある
- 2 ない

(4) (3) で「2 ない」と回答した方にお伺いします。

受講していない理由で当てはまるもの全てを選択してください。

- 1 新人の入職がない
- 2 研修を受講できる教育体制がない
- 3 人手不足で外部研修を受けられない
- 4 その他

(5) あなたの資格取得状況についてお伺いします。

下記の資格取得の状況と今後の予定について、当てはまるものを選択してください。

資格等の内容	取得している	取得予定
1 特定行為研修修了		
2 認定看護師		
3 専門看護師		
4 認定看護管理者		
5 診療看護師		
6 アドバンス助産師		
7 その他()		

※ 1は、厚生省が認定する施設での研修修了者 2・3・4は、日本看護協会の認定資格

5は、日本診療看護師教育大学院協議会の認定資格 7は、日本助産師評価機構の認定資格

V. あなた自身について

問9 あなたの年齢(記入日時点の年齢)についてお伺いします。(1つ選択)

- 1 24歳未満
- 2 25～29歳
- 3 30～34歳
- 4 35～39歳
- 5 40～44歳
- 6 45～49歳
- 7 50～54歳
- 8 55～59歳
- 9 60～64歳
- 10 65～69歳
- 11 70歳以上

問10 あなたの性別についてお伺いします。

1. 男性
2. 女性
3. 回答しない

問11 あなたの出身都道府県および卒業した看護学校の所在都道府県についてお伺いします。

(1) あなたの出身都道府県を教えてください。

(2) あなたが卒業した看護学校(養成所含む)の所在都道府県を教えてください。

問12 あなたの職場と仕事の状況について、お伺いします。

あなたが働く施設の状況についてお伺いします。

(1) 施設の法人名及び名称をご入力ください。

法人名		施設名称	
-----	--	------	--

(2) 施設区分

- | | | | |
|---|--------------|----|-----------|
| 1 | 病院(400床以上) | 7 | 介護老人保健施設 |
| 2 | 病院(200～399床) | 8 | 介護老人福祉施設 |
| 3 | 病院(200床未満) | 9 | 介護医療院 |
| 4 | 有床診療所 | 10 | 障がい児・者施設等 |
| 5 | 無床診療所 | 11 | その他 |
| 6 | 訪問看護ステーション | | |

(3) 施設所在地(医療圏)

- | | | | | | |
|---|-------|----|-------|----|-----|
| 1 | 福岡・糸島 | 6 | 久留米 | 11 | 田川 |
| 2 | 粕屋 | 7 | 八女・筑後 | 12 | 北九州 |
| 3 | 宗像 | 8 | 有明 | 13 | 京築 |
| 4 | 筑紫 | 9 | 飯塚 | | |
| 5 | 朝倉 | 10 | 直方・鞍手 | | |

医療圏名	構成市町村
福岡・糸島	福岡市、糸島市
粕屋	古賀市、糟屋郡（宇美町、篠栗町、志免町、須恵町、新宮町、久山町、粕屋町）
宗像	宗像市、福津市
筑紫	筑紫野市、春日市、大野城市、太宰府市、那珂川市
朝倉	朝倉市、朝倉郡（筑前町、東峰村）
久留米	久留米市、大川市、小郡市、うきは市、三井郡（大刀洗町）、三潨郡（大木町）
八女・筑後	八女市、筑後市、八女郡（広川町）
有明	大牟田市、柳川市、みやま市
飯塚	飯塚市、嘉麻市、嘉穂郡（桂川町）
直方・鞍手	直方市、宮若市、鞍手郡（小竹町、鞍手町）
田川	田川市、田川郡（香春町、添田町、糸田町、川崎町、大任町、赤村、福智町）
北九州	北九州市、中間市、遠賀郡（芦屋町、水巻町、岡垣町、遠賀町）
京築	行橋市、豊前市、京都郡（荻田町、みやこ町）、築上郡（吉富町、上毛町、築上町）

(4) あなたは、現在どの資格で働いていますか、当てはまるものを選択してください。

- 1 保健師 2 助産師 3 看護師 4 准看護師

(5)あなたの主な仕事は何ですか。

- 1 病棟での看護業務
- 2 病棟以外での看護業務（手術室・材料室、外来業務（病院・診療所）
- 3 地域医療連携室・相談室での相談調整業務
- 4 認定看護師、専門看護師等専門に特化した業務
- 5 訪問看護
- 6 助産業務
- 7 施設利用者の健康管理・相談業務
- 8 管理監督業務
- 9 その他（ ）

問13 あなたの就業形態について、お伺いします。(1つ選択)

- 1 正規職員
2 非常勤職員（契約職員、嘱託職員、パートなど）

問14 あなたの勤務形態について、お伺いします。（1つ選択）

- | | | |
|--------|------------|-------|
| 1 2交代制 | 4 日勤のみ | 7 その他 |
| 2 3交代制 | 5 日勤＋オンコール | |
| 3 宿直性 | 6 夜勤専従 | |

問15 あなたが現在働いている施設での経験年数についてお伺いします。

- | | | |
|-----------|------------|---------|
| 1 3年未満 | 3 10～20年未満 | 5 30年以上 |
| 2 3～10年未満 | 4 20～30年未満 | |

問16 あなたの各種手当（夜勤手当、時間外手当、通勤手当、住居手当等）を含めた前月の総支給額はいくらですか。（1つ選択）

- | | | |
|-------------|-------------|-------------|
| 1 20万円未満 | 4 30～35万円未満 | 5 45～50万円未満 |
| 2 20～25万円未満 | 5 35～40万円未満 | 6 50万円以上 |
| 3 25～30万円未満 | 6 40～45万円未満 | |

問17 あなたの今後の勤務希望についてお伺いします。

あなたのキャリアを考えたときに、10年後、どのような職場で働いていると考えますか。

- | | |
|----------------|--------------|
| 1 病院(400床以上) | 8 介護老人福祉施設 |
| 2 病院(200～399床) | 9 介護医療院 |
| 3 病院(200床未満) | 10 障がい児・者施設等 |
| 4 有床診療所 | 11 看護業務以外の職場 |
| 5 無床診療所 | 12 働いていない |
| 6 訪問看護ステーション | 13 その他 |
| 7 介護老人保健施設 | |

ご協力ありがとうございました。

看護職員確保に係る実態調査報告書
令和7年3月発行
福岡県保健医療介護部医療指導課

福岡県行政資料	
分類記号 GC	所属コード 4400403
登録年度 06	登録番号 0002